



「新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」提案を受ける！

JR東労組は会社より「新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」提案を受けました。提案の内容は、新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新幹線車両センター業務執行体制の見直しを行うものです。検査体制を見直すことで、これまで以上に教育や各種施策に取り組み、人財育成の時間に充てていくことで、車両品質の向上と社員の成長が目的とされています。詳細は以下の通りです。

1 実施事項

交番検査における作業工程や作業分担を見直し、業務執行体制を変更する。

(1)盛岡新幹線車両センター

- ◆ 現行より1名減の体制とする
- ◆ 作業効率効能のため休憩時間帯を見直す
- ◆ 電気担当は新たに車軸探傷作業を担当する
- ◆ 新たに機動担当を設置し臨修作業等を担当する

(2)秋田新幹線車両センター

- ◆ 現行より2名減の体制とする
- ◆ 総括、保安、運転台担当が摩耗品の取替補助を行う
- ◆ 号車担当および車軸探傷担当が受け持つ車両数を見直す

2 実施箇所

盛岡新幹線車両センター、秋田新幹線車両センター

3 提案箇所体制

		現行			改正			記事
		変形等	交代	計	変形等	交代	計	
盛岡新幹線車両センター	管理	3	2	5	3	2	5	
	一般	32	2	34	31	2	33	
秋田新幹線車両センター	管理	4		4	4		4	
	一般	18	2	20	16	2	18	

4 実施時期 2022年10月1日

議論で示された主な内容

共通

- 交検のトライアルを行い検証してきたが問題はなかったため、提案に至った。
- 出面数の調整などにより生み出された時間で、教育を行っていく。
- 変更点については職場で説明を行い、疑問点については受け付ける。

盛岡新幹線車両センター

- JR本体の作業の待ち時間解消のために、JR社員の休憩時間を変更し13時～14時にする。
- 新たな機動担当は、交検担当の中を含む。また、多くの人に経験してもらいたい。

秋田新幹線車両センター

- 車軸探傷担当は2名から1名とする。
- 号車担当は5名から4名とする。



安全な車両を提供できる教育と環境をつくり出そう！